

北海道 (函館～三好岬～釧路)

1989年 5月 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7 日

6泊7日 (車1台)

費用 ¥94,290-

走行距離 885km

ロータリー使用.



** チャリンコ旅日記 No.16 **
** Resistance Of My Mind 19920315 **

【1989年5/1日から7日 函館市（襟裳岬）釧路市 885Km】

【5月1日（月）】 曇り／雨 走行距離 0Km
前橋駅 → 大宮駅 → 函館駅 走行時間 0分

15:05 自宅 出る
15:35 前橋駅 電車 前橋→大宮→函館 ¥23020-
55 出る
16:20 高崎駅 新幹線 弁当、ジュース ¥500-
17:43 大宮駅 雑誌 ¥180-
北斗星3号 11号10番上段
グランシャリオ ビザ、ワイン ¥1854-

ナカヨ通信機45周年の創立記念日の今日、午前中は記念式典に出席し、午後から旅立ちの準備をする。今回の旅行は、行きは電車で帰りは飛行機。電車は、友人に頼んで北斗星を抑えた。飛行機は、日通の旅行社に頼んだ。ゴールデンウィークとあって、旅券は、キャンセル待ち。出発数日前に手に入れた旅券で、二度目の北海道へ向かう。

午後3時過ぎ、前橋駅のホームで電車を待つ間に、小雨が降りだした。でも、ここまで来れば後は函館まで電車の中、雨なんか関係ない。北斗星には、大宮駅から乗る。ホームに入って来た電車の前面には、北斗星のマークが付いている。青い寝台車に乗り込んで自分の席を探す。向かい合う席と下の段の客は、まだ居ないらしい。自分の寝台を整理をして一眠り。

21時頃、グランシャリオへ行って食事にする。向かいの席の30前後の男性に話しかけて、短い時間を楽しむ。食事が終わる頃、このレストランの支配人らしい人が「この列車に、スリ・置き引きの常習者が乗り込んでいる、という情報が入りました。」とアナウンスしていた。少し不安になるがまだワインが残っているので、そのまま食事を続ける。しばらくしてまた同じ人が、「この列車内で盗難の被害が出ています……。」と続けた。私は、席を空けるための手段だと思いながらも、席を立ち自分の寝台へ急いだ。そして、荷物を調べて“やられた!”と思った。いつれにしても、荷物が無事で良かった。ほろ酔い気分で、眠りに着く。

【5月2日(火)】 曇り

走行距離 189Km

函館市 → 榎法華村 → 鹿部町 →
→ 森町 → 八雲町 → 長万部町

走行時間 9時30分

4:52	函館着 雨上がりの曇り空	10:34	休み トイレ
5:30	組立完了 カロリーメイト ¥200- 朝市を見る	37	出る
5:51	函館駅 出る 寒い	11:35	森町駅 119Km
7:48	休み(尻岸内町)	12:05	出る ラーメンライス ¥800-
8:05	出る パン、ジュース ¥439- 寒くて体が震えている	13:05	休み 山越 ジュース¥100-
15	休み トイレ	12	出る
18	出る	57	休み 黒岩 コーヒー ¥306-
43	榎法華村 トンネル多い	14:06	出る 165Km
54	休み 古部 54Km	43	休み
56	出る 追い風	46	出る
9:58	休み 息が白い	59	長万部駅
10:06	出る 84Km	15:10	出る 温泉街で宿探し
18	鹿部町	39	細田旅館 ¥3500- 夕食朝食 ¥1165-

函館に着いた時、雨は上がっていたが今にも降り出しそうな天気だった。電車の中で着替えを済ませ、自転車は駅の構内で組み立てる。自動販売機で買ったカロリーメイトを飲んで出発。駅前の朝市で、地元の人に榎法華村へ行く道を尋ねて、雨に濡れたR278を水しぶきを立てて走って行く。すぐに、靴がびしょ濡れになり、つま先が冷えてくる。手も体も凍えるほど寒い。2時間程走って、スーパーに逃げ込む。寒くて寒くて、パンを食べて温かい缶コーヒーを飲んでいたが、体は震えていた。ジャンパーを着ても寒い。5月の北海道が、こんなに寒いとは思わなかった。津軽海峡から吹いてくる風は、吐息をうっすらと白くさせ、コンブの臭いを置いて行く。

お昼頃、森町に入る。ここは函館から来るR5とR278が合流する町。確かに、交通量が多くなり、自転車で走っている事が恐くなってきた。トラックがものすごいスピードで俺の脇を走り過ぎて行く。一瞬、トラックに吸い込まれそうになり、必死にハンドルを握っている。特に、二両連結のトレーラーは、恐い。後ろを振り返りながら走っていて“もうすぐトラックが来るな”と思って、構えて走っている。トラックが近づき俺の脇に並ぶ。ハンドルを握って吸い込まれない酔うに頑張る。トラックが過ぎたと思い、力を抜いたとたんにもう一台が通り過ぎて行く。狭い道を、神経をすり減らしながら、長万部へ向かった。一日中、寒かった。

【5月3日(水)】 曇り／小雨

長万部町 → 伊達市 → 室蘭市 →
→ 登別市 → 白老町 → 苫小牧市

走行距離 167Km

走行時間 11時05分

5:00	起床	11:40	登別駅
45	旅館 出る 曇り	12:14	クマ牧場 みやげ ¥1370-
6:28	狩勝トンネル		ロープウェイ ¥1710-
45	静狩峠 18Km	14:03	クマ牧場 出る
55	礼文華	21	登別駅 曇り
7:11	大岸 休み ヨーカ	24	出る
19	出る	15:18	白老駅
59	洞爺駅 45Km	21	出る
8:07	出る 向かい風	24	ポロトコタン
39	若生 休み パン、ジュース¥224-	31	出る
50	出る 昭和新山入り口	16:28	苫小牧駅 明るくなる
10:22	東室蘭 小雨	50	照葉旅館 ¥3000-
30	休み ヨーカ、パン ¥417-		夕食朝食 ¥1270-
41	出る 道路が濡れ出す		0144-33-7812
49	休み 自動販売機の小さな		
55	出る 軒下でカッパを着る		

昨夜、買った朝食を食べて曇り空の下、室蘭へ向かう。走り出してから、町のはずれで陸橋にさしかかり、数人のカメラマンが線路に向かって構えているのに気付いた。轟音と共に青い車体の列車が通り過ぎて行った。北斗星だ。たぶん、3号だろう。道路は次第に山間を走り、上りばかりになる。幾つかのトンネルを抜けて静狩峠を過ぎると、道は平坦になった。晴れていれば、左手に洞爺湖をたたえる山並が見えるのだろうが、生憎の曇り空。室蘭に入る頃からポツリポツリと小雨が降り出し、20分程で本降りになった。カッパを着て“とうとう雨になったか”と思い、寒さに震えながら登別を目指す。

クマ牧場のある登別。以前から行って見たい所だった。それなのに、登別駅に着いた時、すでに雨は上がっていたが“天気が悪いからこのまま苫小牧へ向かおう”と思っていた。日本一周で立ち寄ったこの地に“二度と来られないだろう”と思うと、駅前の濡れた坂道を“行ける所まで”と思いながら、クマ牧場へ向けて登って行った。牧場は、登別温泉からロープウェイで登って行く。霧で牧場からの景色は良くなかったが、罷熊を目の辺りに見ることが出来て嬉しくて、2時間半もこの地で、大切な時を過ごしていた。

【5月4日(木)】 雨／曇り

走行距離 188Km

苦小牧市 → 鷗川町 → 新冠町 → 静内町 → 走行時間 11時36分
→ 浦河町 → 様似町 → 襟裳岬

4:48	起床	11:21	静内駅入り口
5:50	旅館出る 霧雨 カップ	22	休み 古川橋 トル
6:40	休み	26	出る
44	出る 周囲は荒野	12:14	春立 みそラーメン ¥500-
7:31	浜厚真 休み 雨上がり	33	出る トル
41	出る 向かい風 トル	13:55	浦河駅 トル
8:00	鷗川 カツ弁当 ¥491-	14:02	出る
14	出る 野菜ジュース	50	様似町 オムツケーキ ¥300-
55	富川駅	56	出る 薄日が射す
9:01	休み 缶コ ¥98-	16:11	燈台公園 濃霧
07	出る	17	出る
52	清島駅 休み トル	17:05	襟裳岬 濃霧でびしょ濡れ
10:00	出る	22	出る
48	休み 野生のキツネを見た	26	襟裳岬YH
55	出る コーヒー ¥100-		¥2800-
11:04	新冠駅入り口		

早朝で車通りの少ない広い道。黄色のカップを着て霧雨の中、苦小牧の街中を走り出す。メガネは霧で曇り頭は濡れ、灰色の世界に心も染まり出す。街中を抜けて襟裳岬へ向かう道は、荒野の中の一本道。唯一、右手の丘陵の上にコンビナートの様な施設が見える。周囲には何も無い。雨は相変わらず降り続き、いい加減気持ち減入ってくる。車さえも減多にこない。浜厚真あたりから、家並みが見え出し、出発から2時間ぶりに発見したセブンイレブンで休憩する。その頃には、雨も上がっていた。店員にとって私は久しぶりの客らしく、私が外で弁当を食べようとしていたら、「どうぞ、中で食べて下さい。外は寒いですから…」と、声を掛けてくれた。

新冠では、道沿いに広大な牧場が続いている。疲れてゆっくり走っていたら、左手の草むらでガサガサ音がした。すぐに振り返ると、何か牧場の丘の方へ走って行く。キツネだ。この旅で、死んだキツネは何匹か見たが、生きた野生のキツネは初めて。彼は、途中で立ち止まってこちらをじっと見ていた。

今日の終点襟裳岬は、濃霧とアップダウンで私を迎えてくれた。10m先しか見えない濃霧の中、YHに辿り着いたのは、家の明かりが恋しい時間。長い一日がやっと終わった。

【5月5日（金）】 霧／晴

走行距離 187Km

襟裳岬 → 広尾町 → 豊似町 →
→ 浦幌町 → 音別町 → 白糠町

走行時間 10時50分

5:10	起床	トトジューズ、かりーメイト	12:09	休み	長節
6:15	YH出る	霧 ¥300-	17	出る	
40	休み	南西風	41	旅来	十勝川突き当たり
45	出る	晴	13:15	豊頃橋	
57	庶野	ハソ ¥100-	30	休み	ハソ、ジューズ ¥300-
7:05	出る	温かい	42	出る	やっと見つけた
8:02	休み				ラーメン屋は
10	出る				締まっていた
30	フンベの滝		14:30	浦幌町	ラーメン ¥500-
34	出る		52	出る	快晴
48	広尾駅	刈グティ ¥300-	15:50	音別町	コーヒー ¥100-
58	出る		58	出る	
9:35	豊似町	R336入り口	17:02	白糠町	
38	出る	パトカー	05	ビジネスホテル光洋	
10:04	休み	ジューズ ¥100-			¥3800-
09	出る				夕食、ハソ ¥2227-

襟裳岬YH。“気違いYH”の一つとして有名。自転車で疲れた体を鞭打って、夜11時まで踊り狂わされた。昨夜の疲れもなんのその、5時過ぎに起きて出発前に女の子と写真を撮って、霧の中へと消えて行く。ほんの一夜の出合。霧は、思い出の様に私にまとわり着く。肉眼で見ても眩しくない様な白い太陽。道端は湿原の様な原野。白い太陽が眩しさを増すと、幻想の世界を抜けて青空の下を走る様になった。左前方には、名も知らぬ日高の山並が見えている。道端で、自転車を止めて振り返ると、岬の方は灰色の厚い雲に包まれていた。

これから広尾町に向かう海岸沿いの道を“黄金道路”という。昭和2年から9年に掛けて切り開かれたこの道の名は、莫大な費用が掛かった事に由来するという。右は太平洋、左は崖。落石防止のトンネルがいたる所にある。そして、白い霧が所々海面を漂っている。海岸から道に溢れた霧の中を通り抜けるときは、ひんやりとする。海岸の岩場には、海苔を採っている人がいる。

車止めのゲートを過ぎると広尾町。パトカーが私の後ろを着いてくる。そして、「気をつけて行って下さい。」とマイクで放送すると、静かに私を抜き去って行った。素敵な警官がいるものだ。この言葉に励まされて、原野の中の道を楽しく白糠町へ向かった。

【5月6日(土)】 快晴

走行距離 149Km

白糠町 → 釧路市 → 厚岸町 → 浜中町 走行時間 11時40分

5:20	起床	12:45	びわせ展望台
6:30	ビジネスホテル出る	51	出る 強風
7:58	釧路駅 カレー ¥412-	13:10	コーヒーハウス展望台
8:15	出る		グラタン、コーヒー ¥1200-
9:50	尾幌 ジュース ¥100-	14:06	出る
55	出る 風が少し強い	37	キリタツブ岬 強風
10:44	厚岸駅 タバコ、ジュース ¥210-	15:40	出る
58	出る	17:10	浜中YH ¥3340-
11:40	アヤメ原 チンベの鼻岬		エゾシカを見た
47	出る		ヒロ子生きていた!

昨夜はひどかった。隣の部屋からセックスの声、振動が伝わって来る。独り身の私としてはたまったものじゃない。寂しく独りで処理をして、興奮して眠れない夜を過ごす。それでも、朝5時には起床した。

今日は、ムツゴロウ動物王国、浜中町を再度訪れる事ができる。楽しくて嬉しくてしょうがない。おまけに天気も快晴で爽やか。1時間半で釧路駅に着き、駅の日食でカレーを食べた。この店で食事をするのも二度目。相変わらず、背の低い小太りの女性が働いている。釧路から浜中へは、一度走った事のある道を逆走する事になる。前回は、どしゃ降りの雨で景色は見えなかった。

二度目の厚岸駅で休んで、浜中町も目前。ここからは、観光気分で走る。周囲に何も無い林の中の道をしばらく走ると、目の前の眺望が開け広大な霧多布湿原に出た。その全容は、びわせ展望台という観光施設から眺める事ができる。遠く青黒い丘陵に囲まれて黄土色の枯れ草が敷き詰められている原野の中を、大きくカーブを描いて川が流れている。その右手の地域には、緩いカーブを描く海岸に沿って民家が密集している。その浜の先は、細く延びて霧多布の街、岬へと続いている。

霧多布岬から見る浜中は、低い平坦な丘陵。その一角にムツゴロウ動物王国がある。二度もこの地を訪れる事が出来て嬉しい。本当なら今回は、函館から釧路まで走って終わりにするところだったが、時間が余っているので浜中まで足を延ばした。私がいちばん自由で強い人間ならこの地に居座るのだが、今の私には思い出として残す事しか出来ない。

浜中町を観光してYHに着いたのは17時。私の運が良かったのか、霧多布湿原の北の丘陵に建つYHの脇の道を自転車を通った時、ガサガサ藪で音がした。すぐに見てみると、エゾシカの白いお尻が見えた。距離にして10mもなかった。YHの玄関前では、もう死んでしまったと思っていたヒロ子が生きていたのです。木立の向こうに落ちて行く赤い夕陽が、とても綺麗だった。

【5月7日(日)】 晴/雨

走行距離 5 Km

浜中町 → 釧路市 → 東京 → 前橋

走行時間 20分

(電車) (飛行機) (電車)

5:30	起床 ヒロ子と散歩	15:50	東京羽田着 小雨 モル-ル ¥460-
8:00	YH出る	18:48	上野駅出る 電車 ¥4010-
25	浜中駅 電車 ¥1260-	20:30	前橋着 弁当 ¥840-
40	自転車分解完了		ビ-ル
10:17	釧路駅 昼食 ¥1260-		バス ¥210-
13:50	出る		
14:25	釧路空港 みやげ ¥26730-		
15:10	出る		

今朝も快晴。爽やかな天気。ヒロ子を連れて散歩に出かける。しかし今回はYHの近くの湿原展望台まで。ヒロ子は老犬のくせに今朝は調子が良いらしく、藪の中にどんどん入って行ってしまう。「ヒロ子、ヒロ子」と呼んでヒロ子の居場所を確認しながら山道を歩く。大変な散歩だった。私が、犬を気遣ったのか、犬に気遣われたのか。

散歩から戻って朝食にする。そして、ヒロ子、YHの仲間、浜中町、ムツゴロウ動物王国に別れを告げて駅へ向かう。これで本当に最後だ。もう休暇も最後の日となり、現実に戻らなくてはならない時が来た。一週間もの間、私に夢を見せてくれた自転車を駅前で丁寧に分解する。フレームやホイールの汚れが、旅の辛さを物語っている。

浜中は小さな町とはいえ10人ほどが、2両編成の電車に乗り込んだ。電車の中は、自衛隊の若者が目についた。たぶん、根室で北の守りに付いているのだろう。釧路駅に着いてから、空港へ向かうバスの発車まで3時間以上ある。自転車を宅急便で送る様にして、荷物をロッカーに預けて釧路の街を歩き回る。レストランで昼食を取りながらビールを飲んでいる。ビールの白い泡に思い出は溶かされて行く。

釧路から1時間半で東京に着く。現実の東京は雨。思い出を溶かしきれないでいる白い泡を、雨が洗い落としている。そして、残った思い出だけが、金属が錆びる様に色あせてゆく。

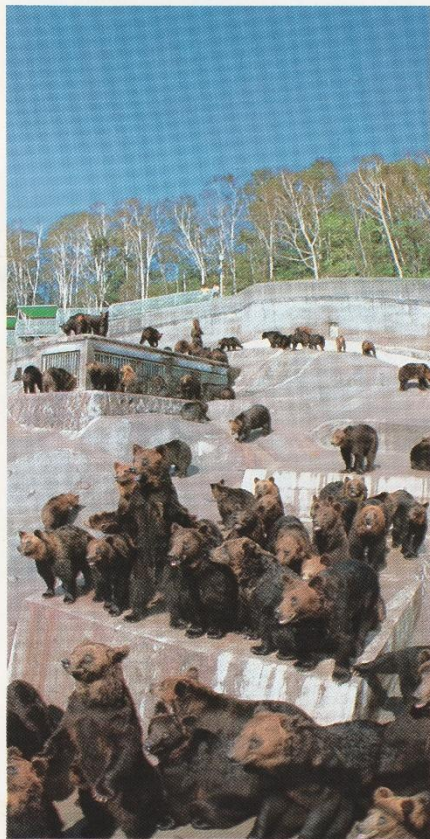
20時30分。前橋に着く。12時間前には、北海道のムツゴロウ動物王国のある町にいた。今晚一晩寝たら本当に夢物語になっていることだろう。明日からは、仕事だ。

0502 函館朝市



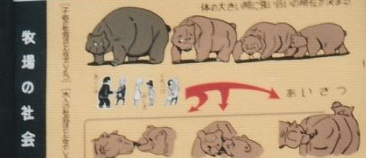
周遊指定地

のほりべつクマ牧場



0503

のほりべつクマ牧場 ごあんない





0503

登別

クマ牧場



0504
襟裳岬



0505



0505



0505
黄金道路



フンベの滝



0506

霧夕布岬





0506
霧夕布



0506
ムツゴロウ
動物王国



